

平成22年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		新潟県		市町村類型	II-2	指定団体等の指定状況		区分		平成22年度(千円)		平成21年度(千円)		区分		平成22年度(千円・%)		平成21年度(千円・%)																																																																																																																																																																								
						財政健全化等	財源超過	歳入総額	歳出総額	実質収支比率	経常収支比率	標準財政規模	財政力指数	公債費負担比率	健全化判断比率																																																																																																																																																																											
				地方交付税種地	2-1	×	○	6,699,714	6,889,397	7.0	7.0	6,889,397	6,315,868	77.7	77.7																																																																																																																																																																											
市町村名		湯沢町				○	×	6,282,244	6,315,868	81.0	81.0	573,529	573,529	(83.7)	(81.8)																																																																																																																																																																											
人口		22年国調(人)	8,396	産業構造		×	×	417,470	573,529	(※1)	(83.7)	90,754	35,238	4,642,835	4,754,186																																																																																																																																																																											
		17年国調(人)	8,713	17年国調	12年国調	×	×	326,716	538,291	標準財政規模	1.23	-211,575	147,831	1.23	1.30																																																																																																																																																																											
増減率(%)		-3.6						×	×	108,846	133,196	公債費負担比率	1.9																																																																																																																																																																													
住民基本台帳人口		23.03.31(人)	8,264	第1次		○	×	-	-	健全化判断比率	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																											
		22.03.31(人)	8,348	5.6	4.1	×	×	-102,729	281,027	実質赤字比率	-	-	-	-	5.3																																																																																																																																																																											
増減率(%)		-1.0		663	725	○	○			連続実質赤字比率	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
面積(km ²)		357.00		第2次						実質公債費比率																																																																																																																																																																																
人口密度(人/km ²)		24		14.5	14.6					将来負担比率																																																																																																																																																																																
世帯数(世帯)		3,463		3,647	4,026					資金不足比率(※3)																																																																																																																																																																																
				79.8	81.2																																																																																																																																																																																					
職員の状況																																																																																																																																																																																										
区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)																																																																																																																																																																																			
市区町村長		1	6,831	一般職員	129	395,643	3,067	地方債現在高																																																																																																																																																																																		
副市区町村長		1	5,833	うち消防職員	-	-	-	うち公的資金																																																																																																																																																																																		
収入役		-	-	うち技能労務職員	11	32,329	2,939	債務負担行為額(支出予定額)																																																																																																																																																																																		
教育長		1	4,959	教育公務員	1	4,659	4,659	430,646																																																																																																																																																																																		
議会議長		1	2,890	臨時職員	-	-	-	収益事業収入																																																																																																																																																																																		
議会副議長		1	2,440	合計	130	400,302	3,079	-																																																																																																																																																																																		
議会議員		10	2,130	ラスパイレス指数	-	-	90.7	土地開発基金現在高																																																																																																																																																																																		
								積立金		1,770,588	1,661,742																																																																																																																																																																															
								現在高		73,782	73,702																																																																																																																																																																															
								減債基金		1,545,559	1,240,792																																																																																																																																																																															
								其他特定目的基金																																																																																																																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8pt;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">一般会計等の一覧</th> <th style="width: 20%;">事業会計の一覧</th> <th style="width: 20%;">公営企業(法適)の一覧</th> <th style="width: 20%;">公営企業(法非適)の一覧</th> <th style="width: 20%;">関係する一部事務組合等一覧</th> <th style="width: 20%;">地方公社・第三セクター等一覧</th> </tr> <tr> <th>項番</th> <th>会計名</th> <th>項番</th> <th>会計名</th> <th>項番</th> <th>組合等名</th> <th>項番</th> <th>団体名</th> <th colspan="3" style="text-align: right;">(※2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(6)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(8)</td> <td>下水道特別会計</td> <td>(9)</td> <td>新潟県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td>(19)</td> <td>ツナギ地域開発圏</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>介護保険特別会計</td> <td>(7)</td> <td>病院事業会計</td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>新潟県市町村総合事務組合(職員退職手当支給事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>新潟県市町村総合事務組合(消防団員等公務災害補償等事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5)</td> <td>老人保健特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>新潟県市町村総合事務組合(消防賞じゅつ金等支給事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>新潟県市町村総合事務組合(非常勤職員公務災害補償等事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>新潟県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>魚沼地区障害福祉組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>魚沼地域特別養護老人ホーム組合(特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>新潟県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18)</td> <td>新潟県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>																				一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※2)			(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(8)	下水道特別会計	(9)	新潟県市町村総合事務組合(一般会計)	(19)	ツナギ地域開発圏						(3)	介護保険特別会計	(7)	病院事業会計			(10)	新潟県市町村総合事務組合(職員退職手当支給事業特別会計)								(4)	後期高齢者医療特別会計					(11)	新潟県市町村総合事務組合(消防団員等公務災害補償等事業特別会計)								(5)	老人保健特別会計					(12)	新潟県市町村総合事務組合(消防賞じゅつ金等支給事業特別会計)														(13)	新潟県市町村総合事務組合(非常勤職員公務災害補償等事業特別会計)														(14)	新潟県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)														(15)	魚沼地区障害福祉組合(一般会計)														(16)	魚沼地域特別養護老人ホーム組合(特別会計)														(17)	新潟県後期高齢者医療広域連合(一般会計)														(18)	新潟県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)					
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																					
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※2)																																																																																																																																																																																		
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(8)	下水道特別会計	(9)	新潟県市町村総合事務組合(一般会計)	(19)	ツナギ地域開発圏																																																																																																																																																																															
		(3)	介護保険特別会計	(7)	病院事業会計			(10)	新潟県市町村総合事務組合(職員退職手当支給事業特別会計)																																																																																																																																																																																	
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(11)	新潟県市町村総合事務組合(消防団員等公務災害補償等事業特別会計)																																																																																																																																																																																	
		(5)	老人保健特別会計					(12)	新潟県市町村総合事務組合(消防賞じゅつ金等支給事業特別会計)																																																																																																																																																																																	
								(13)	新潟県市町村総合事務組合(非常勤職員公務災害補償等事業特別会計)																																																																																																																																																																																	
								(14)	新潟県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)																																																																																																																																																																																	
								(15)	魚沼地区障害福祉組合(一般会計)																																																																																																																																																																																	
								(16)	魚沼地域特別養護老人ホーム組合(特別会計)																																																																																																																																																																																	
								(17)	新潟県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																																	
								(18)	新潟県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																																																																																																																																																																																	

(注釈)

- ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
- ※2: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
- ※3: 資金不足比率には、資金が不足している会計のみ記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比
地方税	4,227,604	63.1	4,227,133	94.7	普通税	4,130,259	97.7
地方譲与税	67,774	1.0	67,774	1.5	法定普通税	4,130,259	97.7
利子割交付金	3,552	0.1	3,552	0.1	市町村民税	631,949	14.9
配当割交付金	1,265	0.0	1,265	0.0	個人均等割	39,227	0.9
株式等譲渡所得割交付金	415	0.0	415	0.0	所得割	284,835	6.7
地方消費税交付金	108,597	1.6	108,597	2.4	法人均等割	252,115	6.0
ゴルフ場利用税交付金	3,990	0.1	3,990	0.1	法人税割	55,772	1.3
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,410,297	80.7
自動車取得税交付金	15,829	0.2	15,829	0.4	うち純固定資産税	3,390,700	80.2
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	17,616	0.4
地方特例交付金	14,281	0.2	14,281	0.3	市町村たばこ税	70,397	1.7
児童手当及び子ども手当特例交付金	8,239	0.1	8,239	0.2	鉱産税	-	-
減収補填特例交付金	6,042	0.1	6,042	0.1	特別土地保有税	-	-
地方交付税	82,006	1.2	-	-	法定外普通税	-	-
普通交付税	-	-	-	-	目的税	97,345	2.3
特別交付税	82,006	1.2	-	-	法定目的税	97,345	2.3
(一般財源計)	4,525,313	67.5	4,442,836	99.5	入湯税	96,874	2.3
交通安全対策特別交付金	1,356	0.0	1,356	0.0	事業所税	-	-
分担金・負担金	3,032	0.0	-	-	都市計画税	471	0.0
使用料	91,059	1.4	5,292	0.1	水利地益税等	-	-
手数料	7,299	0.1	-	-	法定外目的税	-	-
国庫支出金	475,050	7.1	-	-	旧法による税	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計	4,227,604	100.0
都道府県支出金	334,144	5.0	-	-			
財産収入	174,568	2.6	15,642	0.4			
寄附金	2,797	0.0	-	-			
繰入金	7,995	0.1	-	-			
繰越金	573,529	8.6	-	-			
諸収入	186,172	2.8	192	0.0			
地方債	317,400	4.7	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	150,000	2.2	-	-			
歳入合計	6,699,714	100.0	4,465,318	100.0			

区分		平成22年度	平成21年度	
徴収率	現・計	95.4	74.7	95.5
(%)	年	97.6	90.9	97.3
		94.8	71.4	95.0
				72.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,084,548	実質収支	36,773
下水道	626,500	再差引収支	-10,278
病院	120,000	加入世帯数(世帯)	1,726
簡易水道	18,973	被保険者数(人)	3,138
上水道	-	被保険者	86
国民健康保険	103,645	1人当り	79
その他	215,430	保険料(料)収入額	204
		国庫支出金	
		保険給付費	

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	67,289	1.1	-	67,289	
総務費	1,007,872	16.0	214,272	813,353	
民生費	1,122,416	17.9	4,348	756,922	
衛生費	821,609	13.1	192,431	747,613	
労働費	47,625	0.8	3,979	26,488	
農林水産業費	110,088	1.8	11,134	94,411	
商工費	183,736	2.9	1,759	137,901	
土木費	1,517,002	24.1	410,034	1,306,929	
消防費	445,679	7.1	95,149	438,581	
教育費	817,942	13.0	27,792	725,230	
災害復旧費	1,574	0.0	-	1,574	
公債費	136,430	2.2	-	108,803	
諸支出費	2,982	0.0	2,982	2,982	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	6,282,244	100.0	963,880	5,228,076	
性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,609,391	25.6	1,236,253	1,202,569	26.1
人件費	1,100,455	17.5	1,002,918	974,033	21.1
うち職員給	717,747	11.4	626,619	-	-
扶助費	372,506	5.9	124,532	119,733	2.6
公債費	136,430	2.2	108,803	108,803	2.4
内 元利償還金	136,430	2.2	108,803	108,803	2.4
訳 一時借入金利息	-	-	-	-	-
その他の経費	3,707,399	59.0	3,374,409	2,536,889	55.0
物件費	866,049	13.8	687,093	536,076	11.6
維持補修費	372,268	5.9	362,207	330,521	7.2
補助費等	1,030,868	16.4	1,012,243	930,521	20.2
うち一部事務組合負担金	20,378	0.3	20,378	20,358	0.4
繰入金	945,575	15.1	906,179	739,771	16.0
積立金	415,243	6.6	406,587	-	-
投資・出資金・貸付金	77,396	1.2	100	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	965,454	15.4	617,414	-	-
うち人件費	24,799	0.4	24,799	-	-
普通建設事業費	963,880	15.3	615,840	-	-
うち補助	295,581	4.7	47,798	-	-
うち単独	659,046	10.5	558,789	-	-
災害復旧事業費	1,574	0.0	1,574	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	6,282,244	100.0	5,228,076	-	-

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	8,264人	(H23.3.31現在)
面積	357.00	km ²
入総額	6,699,714	千円
出総額	6,282,244	千円
実収支	426,716	千円
標準財政規模	4,642,835	千円
地方債現在高	1,163,666	千円

実収支比率	-	%
実収支比率	-	%
実収支比率	5.3	%
実収支比率	-	%

市町村年度	H18	H19	H20	H21	H22
類型	Ⅱ-2	Ⅱ-2	Ⅱ-2	Ⅱ-2	Ⅱ-2

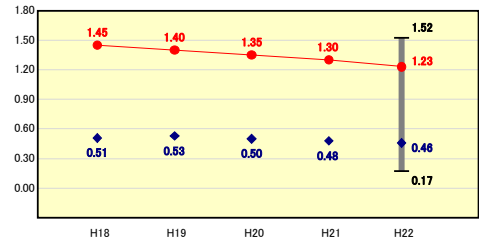


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収支比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [1.23]

類似団体内順位 3/72 全国平均 0.53 新潟県平均 0.55

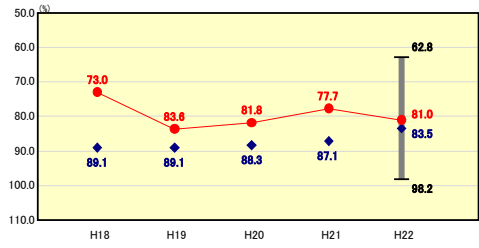


財政力指数の分析欄
 固定資産税を中心とした町税収入に支えられ、類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均をいずれも大きく上回っています。しかし、固定資産税の減価償却が進んでいることや所得の減少により課税額が減少し、あわせて収入額も減少傾向にあります。今後もこの傾向は避けられないため、事務事業見直しによる歳出削減を図り、財政規模の縮小に努めます。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [81.0%]

類似団体内順位 23/72 全国平均 89.2 新潟県平均 87.4

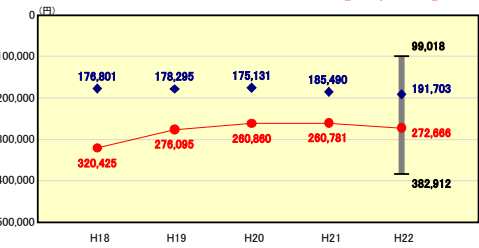


経常収支比率の分析欄
 この数値が低いほど臨時の財政需要に対応できる能力があるとされ、湯沢町は良好な数値を保ってきましたが、歳入の減少や維持管理費等の支出の増加に伴い、近年は数値が上昇傾向にあります。今後は事務・施設管理等の外部委託や定員管理の適正化を図りながら、経常経費の削減に努めます。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [272,666円]

類似団体内順位 62/72 全国平均 114,985 新潟県平均 140,468

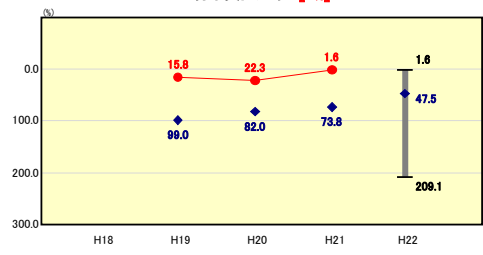


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均と比べ決算額が大変大きくなっています。その要因として、職員数が多いこと、除雪経費や町有施設が多く、それらに係る維持管理経費等が多額となっていることが挙げられます。このことから、定員適正化計画に基づき退職者の不補充などで定員の適正化に努めることや、指定管理者制度のさらなる推進、外部委託等によりコスト削減に努めます。

将来負担の状況

将来負担比率 [-1%]

類似団体内順位 1/72 全国平均 79.7 新潟県平均 116.1

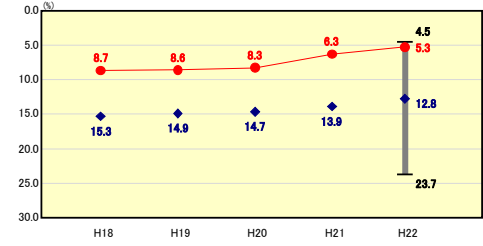


将来負担比率の分析欄
 将来負担すべき負債を現時点で指標化し、将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示したものです。平成22年度は地方債の現在残高は増加しましたが、下水道特別会計の借入金残高に対する将来負担が減少したこと、財政調整基金や学校施設整備基金への積立により将来負担に充当可能な財源が増加したこと等で、前年度1.6%からマイナスに転じ、将来負担比率は発生しませんでした。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [5.3%]

類似団体内順位 3/72 全国平均 10.5 新潟県平均 14.2

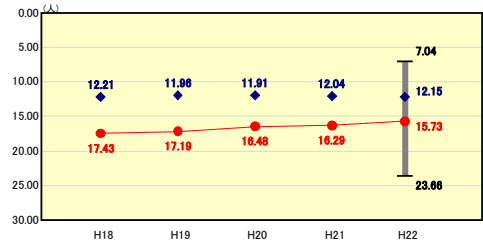


実質公債費比率の分析欄
 借金の返済額が財政をどれだけ圧迫しているかをみる指標です。類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均をいずれも下回っています。起債の償還が進み元利償還金が減少したことが低下した主な要因です。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [15.73人]

類似団体内順位 61/72 全国平均 7.24 新潟県平均 8.76

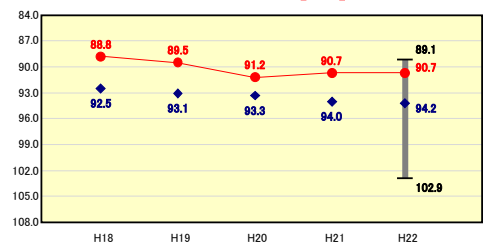


人口千人当たり職員数の分析欄
 湯沢町の人口千人当たりの職員数は、類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均をいずれも大きく上回っています。これはリゾートマンションの林立により課税・徴収部門を強化していることや、地理的条件により保育園等の施設が多いといった特殊事情があるからです。しかし、今後は保育園の統合に伴い退職者を不補充とするなど、職員数の適正化に努めていきます。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [90.7]

類似団体内順位 10/72 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレス指数の分析欄
 湯沢町のラスパイレス指数は、類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均をいずれも大きく下回る低い給与水準となっています。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

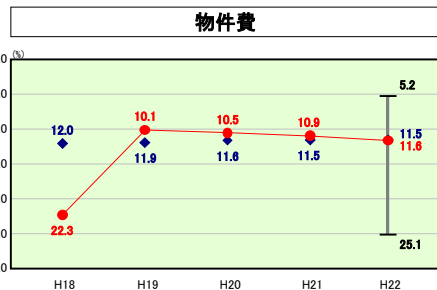
新潟県湯沢町

経常収支比率の分析

人面	口	8,264	人(H23.3.31現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%			
歳入	積	357.00	千円	達	結	実	赤	字	比	-	%			
歳出	総	6,699,714	千円	算	算	公	債	担	比	5.3	%			
実	支	6,282,244	千円	将	未	負	担	比	率	-	%			
算	取	326,716	千円	市	町	村	類	型	H18	Ⅱ-2	H19	Ⅱ-2	H20	Ⅱ-2
標準	規	4,642,835	千円	(年	度	毎)	H21	Ⅱ-2	H22	Ⅱ-2		
地方	現	1,163,666	千円											

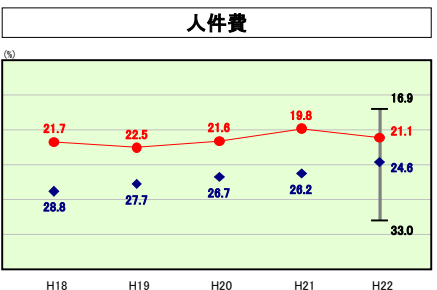


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



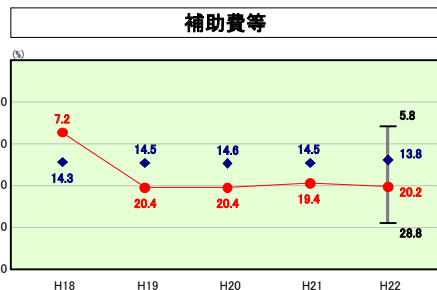
物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均とほぼ同水準です。保育園、小学校や町有施設が多く、管理コストの増加が大きな課題となっています。施設の管理方法やコストの見直しを進めていきます。



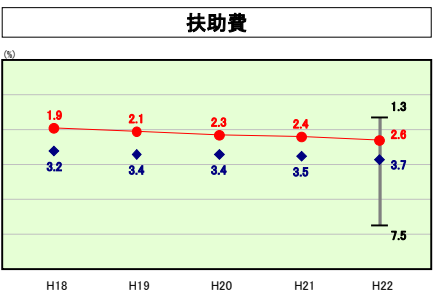
人件費の分析欄

類似団体平均と比較すると、人件費の比率は低くなっています。報酬や職員給与などの決算額が、類似団体平均や全国市町村平均と比較して低い水準となっていることが要因となっています。しかしながら、人口に比した職員数は類似団体平均と比較すると高くなっており、保育園の統合による退職者の不補充など、職員数の適正化に努めていきます。



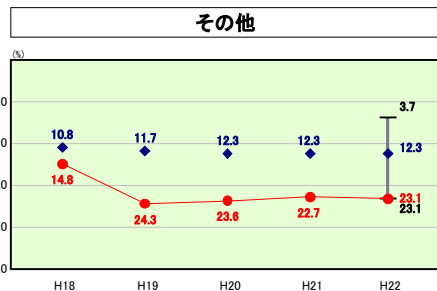
補助費等の分析欄

南魚沼地域広域連合の解散による消防やごみ処理などの広域的な業務の南魚沼市への委託費を計上していることから、類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均のいずれよりも高い数値となっています。



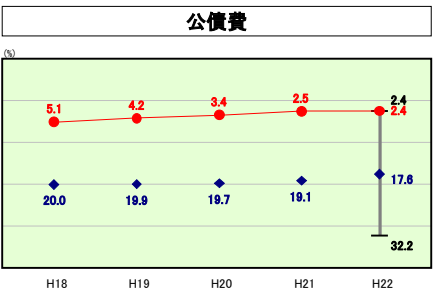
扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っていますが、上昇傾向にあります。今後とも適正な経費執行に努め、数値の上昇を抑制します。



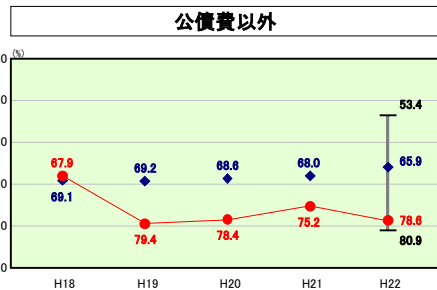
その他の分析欄

類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均のいずれよりも高い数値となっているのは、維持補修費や繰出金などの額が影響していると考えられます。除排雪に係る経費や町有施設の数が多く、維持補修費が多額となっていること、下水道特別会計の借金の返済に充てるなど、他の会計の収入不足を補うために一般会計から多額の繰出金が支出されていること、などの理由によります。



公債費の分析欄

町債の返済が進む中で、新規の借入を必要最小限にとどめてきた結果、類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均のいずれも低い数値となっています。しかし近年は起債額が増加しており、現在は据置期間のため公債費は抑制されていますが、ここ数年で数値は上昇することが必至です。



公債費以外の分析欄

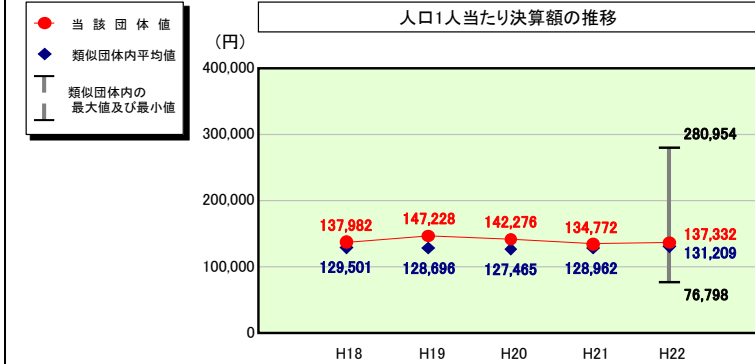
人件費、扶助費、公債費は類似団体平均、全国市町村平均、新潟県市町村平均を下回っていますが、補助費、維持補修費、繰出金が大きく上回っていることから、公債費以外の数値も大きく上回っています。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

新潟県湯沢町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



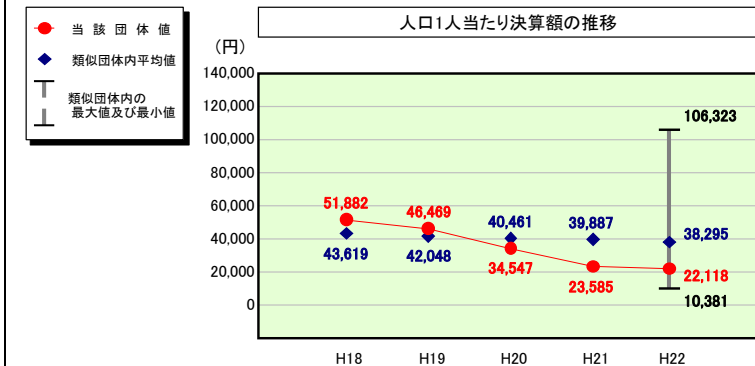
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,100,455	133,163	109,877	21.2
賃金(物件費)	53,122	6,428	9,202	▲30.1
一部事務組合負担金(補助費等)	18,315	2,216	15,856	▲86.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	5,651	684	1,216	▲43.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	42,836	5,183	5,219	▲0.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	24,799	3,001	2,153	39.4
▲退職金	▲110,263	▲13,343	▲12,313	8.4
合計	1,134,915	137,332	131,209	4.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	15.73	12.15	3.58
ラスパイレズ指数	90.7	94.2	▲3.5

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

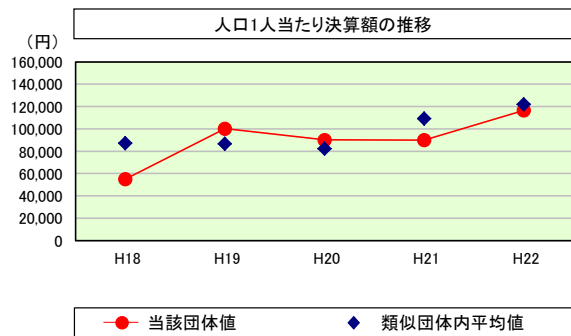


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	136,430	16,509	74,258	▲77.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	577,277	69,854	18,048	287.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	6,380	772	7,200	▲89.3
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	46,224	5,593	2,360	137.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	15	-
▲特定財源の額	▲27,627	▲3,343	▲4,034	▲17.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲555,902	▲67,268	▲59,552	13.0
合計	182,782	22,118	38,295	▲42.2

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

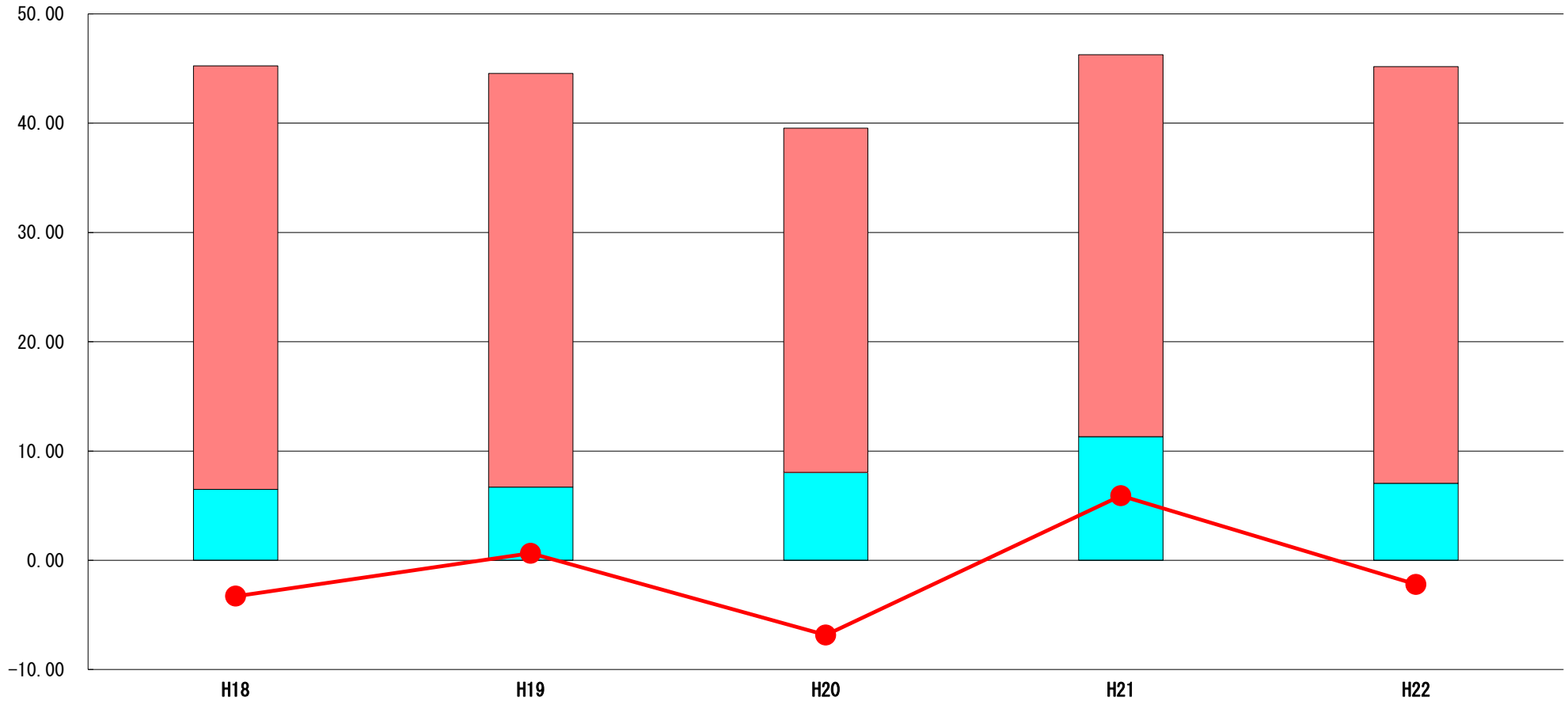
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H18	472,935	54,941	6.8	87,174	▲15.1	21.9
うち単独分	271,452	31,535	▲29.2	48,477	▲18.4	▲10.8
H19	850,878	100,162	82.3	86,616	▲0.6	82.9
うち単独分	384,507	45,263	43.5	49,776	2.7	40.8
H20	759,764	90,062	▲10.1	82,258	▲5.0	▲5.1
うち単独分	528,676	62,669	38.5	43,997	▲11.6	50.1
H21	750,771	89,934	▲0.1	109,234	32.8	▲32.9
うち単独分	440,238	52,736	▲15.8	63,976	45.4	▲61.2
H22	963,880	116,636	29.7	121,932	11.6	18.1
うち単独分	659,046	79,749	51.2	88,430	7.0	44.2
過去5年間平均	759,646	90,347	21.7	97,443	4.7	17.0
うち単独分	456,784	54,390	17.6	54,931	5.0	12.6

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成22年度

新潟県湯沢町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		38.77	37.85	31.50	34.95	38.14
 実質収支額		6.49	6.70	8.05	11.32	7.04
 実質単年度収支		▲ 3.28	0.64	▲ 6.84	5.91	▲ 2.21

分析欄

標準財政規模は年々減少しているが、概ね43億円程度です。財政調整基金の残高もここ数年17億円程度で推移しており、数値はほぼ横ばいです。今後も税収の減少（＝標準財政規模の減少）が続くなかで、財政調整基金の残高を維持していくことが必要と思われます。

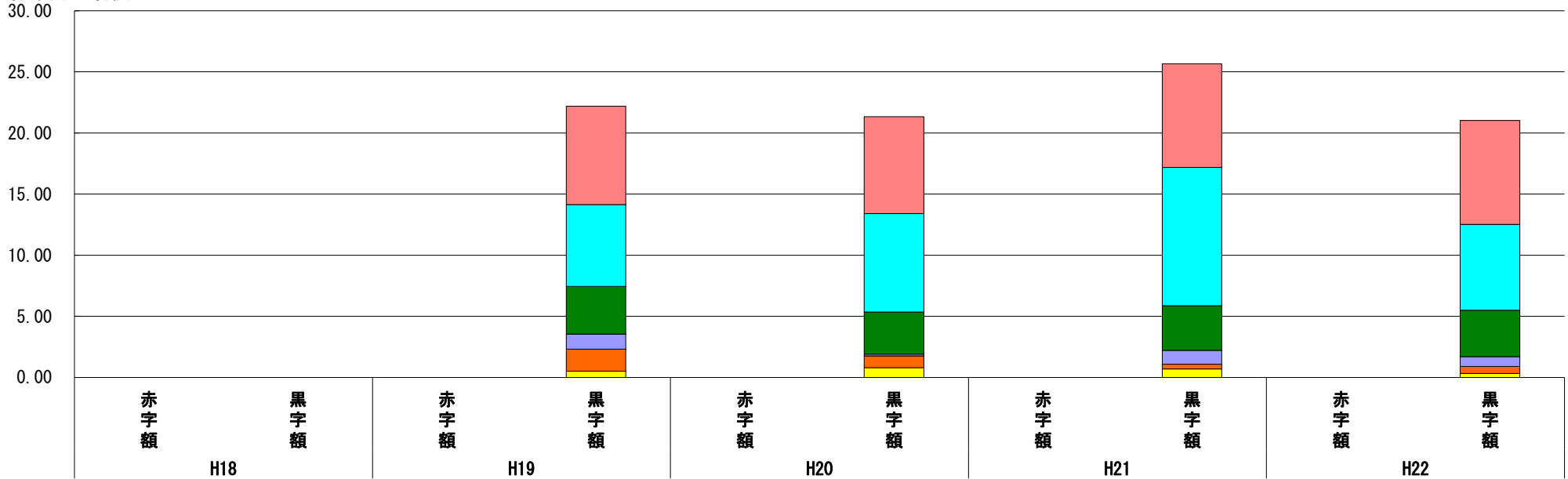
実質収支額は次年度への繰越金を3億円程度と見込んでいるため、ほぼ横ばいで推移しています。平成21年度の数値が大きいのは、税収が見込みよりも多く入ってきたため、実質収支額が5億円を超えたためです。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

新潟県湯沢町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
水道事業会計		-	8.05	7.93	8.48	8.50
一般会計		-	6.70	8.05	11.32	7.04
病院事業会計		-	3.90	3.46	3.66	3.80
国民健康保険特別会計		-	1.24	0.14	1.12	0.79
下水道特別会計		-	1.80	0.97	0.41	0.57
介護保険特別会計		-	0.51	0.79	0.68	0.33
後期高齢者医療特別会計		-	-	0.00	0.00	0.00
老人保健特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.00	0.00	-	-

分析欄

湯沢町の一般会計等及び公営企業会計を除く公営事業会計（国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計）の実質収支で赤字の会計は無く、公営企業会計（下水道特別会計、水道事業会計、病院事業会計）についても資金不足比率は発生していません。

実質収支額の標準財政規模比もほぼ同水準で推移しています。

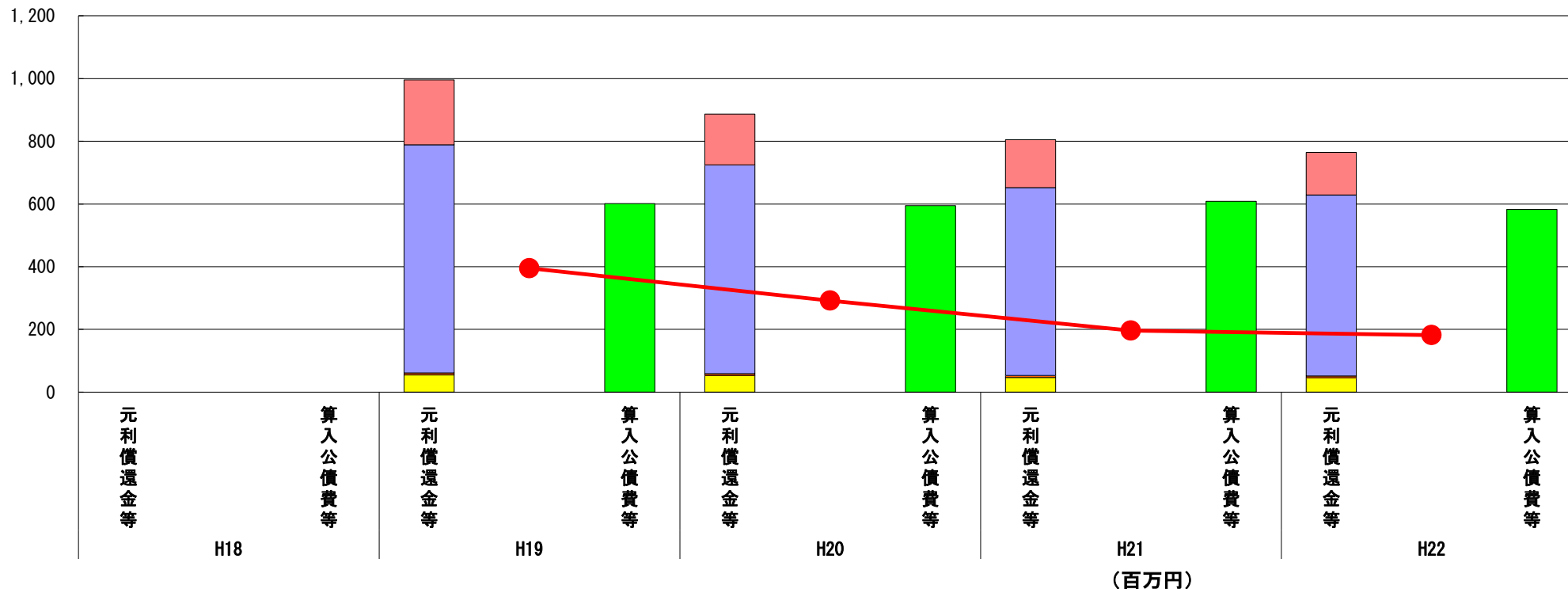
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

新潟県湯沢町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	207	162	153	136	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	728	666	599	577	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	6	6	6	6	
	債務負担行為に基づく支出額	-	55	53	47	46	
	一時借入金利息	-	-	-	-	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	601	595	609	583	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	395	292	196	182	

分析欄

ほぼすべての項目において元利償還金等が減少しているため、実質公債費率は年々減少しています。
 元利償還金は一般会計において支払った公債費の額です。償還が進み年々減少していますが、ここ数年起債の額が増えており、その分は据置期間のため算入されていません。今後増加することが必至です。
 公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、主に下水道会計分が大きいです。これも年々減少してきています。
 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等は一部事務組合等が起こした地方債の償還に充てられる補助金の額です。これも年々減少してきています。
 債務負担行為に基づく支出予定額は、各種福祉施設や土地改良区の起債に対するものと、制度融資に係る利子補給分があります。これも年々減少してきています。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

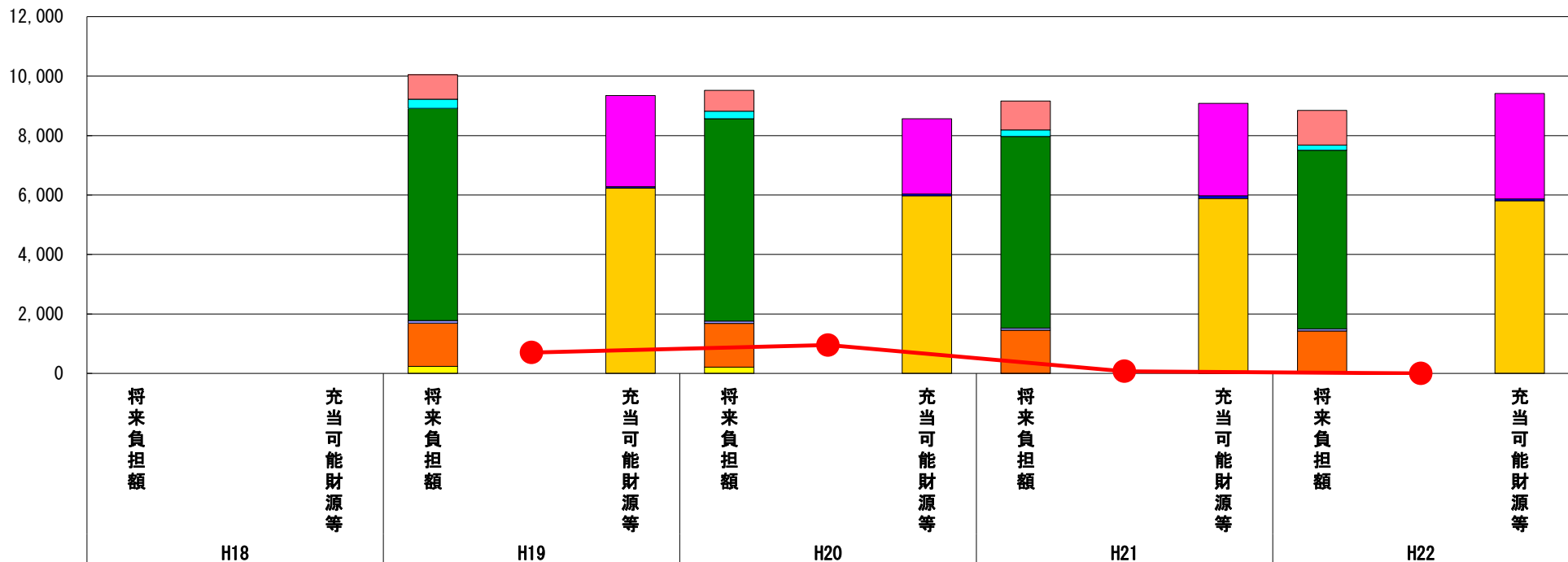
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

新潟県湯沢町

(百万円)



分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高	-	829	698	967	1,164	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	307	262	221	181	
	公営企業債等繰入見込額	-	7,136	6,802	6,446	6,007	
	組合等負担等見込額	-	83	73	68	63	
	退職手当負担見込額	-	1,456	1,472	1,455	1,432	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	237	214	-	1	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	3,059	2,531	3,112	3,541	
	充当可能特定歳入	-	52	68	88	68	
	基準財政需要額算入見込額	-	6,232	5,970	5,886	5,803	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	704	952	71	▲ 565	

分析欄

平成22年度の比率は、地方債の現在高は増加しましたが、下水道特別会計の借入金残高に対する将来負担が減少したこと(公営企業債等繰入見込額)、財政調整基金や学校施設整備基金への積立により将来負担に充当可能な財源(充当可能基金)が増加したこと等で、将来負担比率の分子が負の値となり、数値が発生しませんでした。よって、現時点での将来負担は、一般会計にそれほど重くのしかかっていません。しかし、学校施設整備基金は平成26年度開校予定の湯沢町統合文教施設整備のために全額使うことが決まっており、将来はゼロになります。また、湯沢町統合文教施設整備のために多額の起債を予定しており、地方債の現在高は急激に上昇する見込みです。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。